

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名 一般国道313号 <small>いばらかくふく</small> 井原拡幅	事業区分 一般国道	事業主体 岡山県
起終点 自：井原市 大江町 ～ 至：井原市 井原町		延長 1.8 km
事業概要 一般国道313号は、鳥取、岡山、広島、三県の主要都市間等を連絡する主要幹線道路である。当区間は、1日当たり1万8千台の交通量に対して車線数が2車線と不足しているため、通勤時間帯には慢性的な渋滞が生じている。このため、本事業により4車線拡幅整備を進めている。		
H10年度事業化	H40年度都市計画決定 (H 8年度変更)	H11年度用地着手
H12年度工事着手		H12年度工事着手
全体事業費 67億円		事業進捗率 86%
計画交通量 20,300台/日		供用済延長 0.9km
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 3.0 (残事業) 7.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 9.3/77億円 (事業費: 8.4/75億円 維持管理費: 0.90/2.0億円)
総便益 (残事業)/(事業全体) 68/231億円 (走行時間短縮便益: 65/226億円 走行費用減少便益: 1.3/0.21億円 交通事故減少便益: 1.5/4.7億円)		基準年 平成19年
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施。 交通量変動：B/C=8.0 (交通量+10%) B/C=6.6 (交通量-10%) 事業費変動：B/C=8.0 (事業費-10%) B/C=6.7 (事業費+10%)		
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保 (年間渋滞損失時間の削減) ・国土・地域ネットワークの構築 (井原市⇄福山市間のアクセス向上) 他7項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 井原市の将来都市像「ゆとりと豊かさの創造・交流生活拠点都市井原」の実現に向けた重点課題として、早期整備促進を要望されている。国道313号整備促進期成会からの早期改良整備要望箇所の一つである。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 本線バイパス区間中央部が、井原市の土地区画整理事業により4車線化し供用されている。また、広島県側も4車線化され現道へと暫定接続されている。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 多くの交通切り替え工事や商業地域での用地境界確定・取得に時間を要したが、平成18年度現在、起点井原市大江町から出部町間の0.9kmを部分供用し、用地取得は、約90%が完了している。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 早期に残用地の取得を行い、平成21年度の事業完了を目指している。		
施設の構造や工法の変更等 建設副産物の発生抑制や再生資源利用等により、今後ともコスト縮減に努めることとしている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。